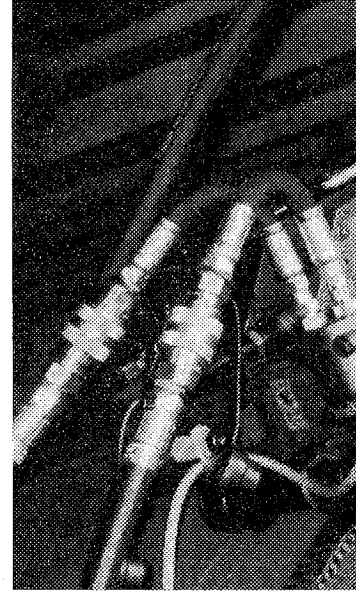


加水給



とらずに大型ポンプの装置で胴体部も含めて一気に切断しようとする、支持板から離れたと

新工法の中核装置となる「自走式ミールングカッター」

品質ISO 札幌の電気管理技術者グループで認証取得

札幌市周辺の電気管理技術者15人で構成するグループが、品質保証の国際規格ISO9001の認証を取得した。今年1月から自家用電気設備の保安管理業務に民間営利法人の参入が自由化されたのに対応し、業務品質の向上や高付加価値化を図り、競争力の強化につ

なげるのがねらい。品質ISOを取得したのは「DKG札幌グループ」（事務所＝北海道当別町、宮中邦夫代表）。メンバー全員が北海道電気管理技術者協会に所属し、札幌市やその周辺市町で保安管理業務を展開している。グループはISO取得のため、昨年8

月に発足した。審査登録日は1月30日で、活動開始から約6カ月での認証取得となった。審査登録機関はトータル・クオリティ・サーフィケーション・サービス（TQCSI）。認証対象は「電気設備保安管理業務」だが、業務で使う試験装置の校正と話している。

や絶縁保護員の点検なども含むのが特徴となっている。書類はすべて電子化して管理し、業務の効率化を図るほか、15人全員が内部監査員の資格を取得して、監査の厳密性を高める工夫も盛り込んだ。宮中代表は「個人で実施する仕事だけにマンネリ化に陥りやすい面があったが、ISO取得により、客観的な目で自分の仕事を評価でき、業務の品質向上につながる」と話している。



品質ISOを取得した電気管理技術者グループのメンバー

の効率も高い。作業によって消耗する資材は、ガス溶断の場合は溶断棒の取り換え工事で初適用した。工期は従来の6・